

## 教科に関する調査の設問別の分析結果


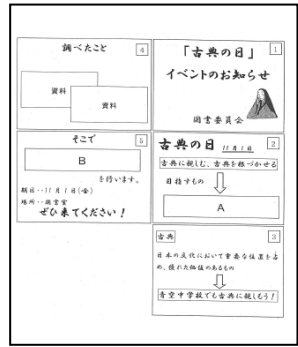
### 平成25年度 基礎・基本定着状況調査

3 【提示資料】の B には「古典の日」に関するイベント名が入ります。このイベントの目的から考えられるイベント名と、そのイベントをする理由を書きなさい。ただし、条件1〜3に従って書くこと。

条件1 【ノート】の中にある資料1、資料2、資料3のうち、2つ以上を根拠にし、選んだ資料の記号に○を付けること。

条件2 イベント名には、作品名とイベントの内容を、【ノート】の中からそれぞれ一つずつ抜き出して書くこと。

条件3 理由には、その作品を取り上げる理由とそのイベントを行う理由を、【ノート】の中にある「古典の日」に関するイベントの目的と結び付けて書くこと。

五 長井さんの通う青空中学校では、図書委員会の活動として（古典の日）に関するイベントを行うことになりました。次は、図書委員会で話し合ったことやその後調べたことをまとめた長井さんの【ノート】と、イベントのPR用に使う【提示資料】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【ノート】

【提示資料】

**【出題の趣旨】**  
根拠と記述の整合性を問う問題である。

**【学習指導要領の内容・領域】**  
・伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。

**【B書くことウ】**  
・文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。

**【C読むことイ】**

(3)について

	正答率
本校	47.8%
広島県	47.5%

解答類型	1	2	3	4	5	9	0
	○	×	×	×	×	×	無解答
本校の割合(%)	47.8	2.9	7.2	20.3	5.8	13.0	2.9

### この問題を解くために必要な

- ・問題文を正確に読み取り、理解する力。
- ・目的に合わせて、複数の資料（非連続テキスト）を根拠にして効果的な方法を思考する力。

### 誤答分析

- 誤答類型
  - 類型2：根拠とする資料の数が不足している。
  - 類型3：根拠となる資料を選んでいない。
  - 類型4：根拠とする資料は選んでいるものの、根拠にする資料とイベント名の整合性がない。
  - 類型5：イベント名と理由の整合性がない。
- ・条件の中に「資料1、資料2、資料3のうち、2つ以上を根拠にし」とあるが、その条件に合わせた解答ができていない。（類型2、類型3）
- ・自分の考えや理由は書くことができるが、「どの資料から何を読み取ったのか」を意識できていない。（類型4）
- ・理由のどちらか一方しかない。または、両方がない。（類型5）
- 無解答
  - ・考えをまとめるのに時間がかかり、記述できなかった。

## 調査結果の分析をふまえた指導改善のポイント

【単元名】「文章の内容をまとめてパンフレットを作ろう」～『脳の働きを目で見てみよう』～

### 調査結果からみる課題

#### 【課題となる力】

- ・問題文を正確に読み取り，理解する力。
- ・目的に合わせて，複数の資料を組み合わせる力。

#### 【指導上の課題】

- ・説明的な文章を読むときに，文章と図表との関連を意識させることが少なかった。
- ・自分の考えを理由を挙げて述べる経験は積んでいるものの，根拠となる事実や内容を吟味する機会が少なかった。
- ・考える目的を意識させることが少なかった。

### 指導改善のポイント

記述内容と図表との関連を意識させて，図表の役割や働きについて考えさせる。

#### 【指導の工夫】

- ・図表の読み取りだけでなく，図表の役割や働きについて考えさせる。
- ・筆者の考えの根拠に注目して読ませる。
- ・言語活動の目的を意識して読ませる。

- ① 読む目的を意識させる。
- ② 記述内容と図表との関連を意識させる。
  - ・文末表現に注目させ、事実と意見を読み分ける。
  - ・筆者の考えの根拠に注目して読ませる。
  - ・図表の役割や働きを考えさせる。
- ③ 相手や目的に応じて使用する図表や内容を取捨選択させる。
  - ・個人思考の時間を確保し、理由や根拠を明らかにしながら図表や内容を選ばせる。
  - ・班で交流することで、質問された部分を補足したり、友達の見解を聞いて新たに考えたりしたことを付けくわえさせる。
  - ・既習事項を振り返らせながら、その知識や技能を生かして言語活動を行う。

## 中学校第 1 学年 国語科学習指導案

単元名：「文章の内容をまとめてパンフレットを作ろう」～『脳の働きを目で見よう』～

授業者 上本 美智子

- 1 日 時 平成 2 5 年 1 0 月 2 9 日 (火)
- 2 学年・学級 第 1 学年 2 組 (男子 1 9 人, 女子 1 8 人, 計 3 7 人)
- 3 場 所 1 年 2 組 教室

### 単元について

#### (1) 単元観

中学校学習指導要領第 1 学年の「C 読むこと」の目標に「目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確に捉える能力を身に付けさせる」とある。また、「読むこと」の能力を育成するため「イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること」を指導することとある。さらに、〔A 言葉の特徴やきまりに関する事項〕には、「C 読むこと」の指導を通して「(エ) 指示語や接続詞及びこれらと同じような働きを持つ語句などに注意すること。」について指導することとある。

本単元で扱う「脳の働きを目で見よう」は、脳科学という難しい分野ではあるが、敬体が用いられ比較的平易な言葉遣いで説明されており、読みやすく分かりやすい文章になっている。問題提起の文や接続表現、順番を表す言葉が効果的に配置されており、構成や論の展開が分かりやすい。また、書かれている内容が事実であるか筆者の考えであるかによって、文末表現が丁寧に使分けられていたり、図や写真、表が文章を補完し、読み手の理解を助ける働きをしたりしている。

そのため、筆者の考えはどのような事実や過程に基づいて述べられているのかを意識させやすい。このことは、論理的な思考の基礎となるものであり、説得力のある意見の述べ方にも通じる。また、文章と図表の読み取りを関連させるだけでなく、その役割や働きについても考えさせることのできる内容となっている。

#### (2) 生徒観

本校の生徒は、「伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと」や「文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること」「非連続テキストの内容を読み取り、問いに答えること」に課題がある。平成 2 5 年度「基礎・基本」定着状況調査においてもこれらに関連する問題の通過率は 47.8%であった。本学級の生徒も 1 学期期末テストにおいて、「筆者の意見を要約する」問題の通過率は 46.8%であった。要約の技術そのものは身に付けているものの、「どの部分が意見なのか」「この例を使って何を述べようとしているのか」を把握する力に課題があることが明らかになった。

5 月に行った生徒質問紙調査によると、「理由を思考している」「理由を付けて話す」という項目に対する肯定的評価はどちらも 71.8%ある。しかし、「説明の分かりやすさを考える」「具体的な例を挙げて説明する」という項目に対する肯定的評価はそれぞれ 64.1%、65.4%である。このことから、理由を思考しているもののその根拠を持っていなかったり、説明の順番を意識していなかったりしているものと思われる。

また、「解決への予想をする」「分かるようになりたい」という項目に対する肯定的評価はそれぞれ 82.1%、78.2%あり、課題に意欲的に取り組もうという姿がうかがわれる。

### (3) 指導観

#### 【 単元を貫く言語活動とその特徴 】

本単元を貫く言語活動として「文章の内容をまとめてパンフレットを作る」ことを位置付ける。ここで取り上げるパンフレットには、相手や目的に応じて内容を選び、その内容の事実と筆者の考えを区別して書かせることとする。このことで、「文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。」(C読むこと(1)イ)を実現できるようにする。

中学校学習指導要領第1学年「C読むこと」の指導事項については、「『イ 文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと』を通して指導するものとする。」とあるので、本単元においては、単元を貫く言語活動を「文章の内容をまとめてパンフレットを作る」とし、市民センターの健康教室に参加している65歳以上の人たちを対象に、脳の活性化を促す方法を紹介する目的で、必要な情報を選び要約してパンフレットを作る活動を設定する。

パンフレットにはどんな情報や図表を載せるかということを常に意識させながら指導にあたりたい。そのため、モデルとなるパンフレットを指導者も作成し、それを提示することでゴールイメージの共有化を図りたい。第一段階は、図や写真、表と文章に述べられている情報とを照らし合わせて内容を読み取らせていく。書かれている内容が事実なのか筆者の考えなのか、筆者の考えの根拠は何かを考えさせるとともに、図表の役割や働きを考えさせたい。第二段階では、相手(市民センターの健康教室に参加している65歳以上の人たち)や目的(脳の活性化を促す方法を紹介する)に応じて情報や図表を取捨選択させたり、内容を要約して書かせたりしたい。また、効果的な見出しを付けたり、他の本から得た情報を付け加えたりするなどの工夫をさせたい。

読むことに苦手意識を持っている生徒には、文末表現に印を付けさせて事実と筆者の考えを区別させたり、図と形式段落の関連を書き込ませたりする。また、少人数での話し合いを通して情報や図表の取捨選択の参考にさせる。「オオカミを見る目」で学習した要約の仕方を振り返らせながら、記述させたい。

## 調査結果からみる課題

平成25年度 「基礎・基本」定着状況調査より

#### (1) 問題の概要

- ・3つの資料をもとにして目的に合ったイベントを考え、なぜそのイベントを考えたのかを根拠を明らかにして記述する。

#### (2) 出題の趣旨

- ・根拠と記述の整合性を問う問題である。

#### (3) 誤答の分析

類型2：根拠とする資料の数が不足している。

類型3：根拠となる資料を選んでいない。

類型4：根拠とする資料は選んでいるものの、根拠にする資料とイベント名の整合性がない。

類型5：イベント名と理由の整合性がない。

- ・条件の中に「資料1、資料2、資料3のうち、2つ以上を根拠にし」とあるが、その条件に合わせた解答ができていない。(類型2、類型3)
- ・自分の考えや理由は書くことができるが、「どの資料から何を読み取ったのか」を意識できていない。(類型4)
- ・理由のどちらか一方しかない。または、両方がない。(類型5)

#### (4) 指導上の課題

- ・説明的な文章を読むときに、文章と図表との関連を意識させることが少なかった。

- ・自分の考えを理由を挙げて述べる経験は積んでいるものの、根拠となる事実や内容を吟味する機会が少なかった。
- ・考える目的を意識させることが少なかった。

## 指導改善のポイント

### (1) 指導内容・指導方法の工夫

- 記述内容と図表との関連を意識させて、図表の役割や働きについて考えさせる。
  - ・図表の読み取りだけでなく、図表の役割や働きについて考えさせる。
  - ・筆者の考えの根拠に注目して読ませる。
  - ・言語活動の目的を意識して読ませる。

### (2) 「ことばの教育」との関連

- ・目的意識、相手意識を持って言語活動を行う。
- ・事実と意見を読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりする。

## 単元の目標

○目的や意図に応じ、様々な本や文章を読み、内容や要旨を捉えて、自分のものの見方や考え方を広くしようとする。

【国語への関心・意欲・態度】

○文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすることができる。

【C読むこと(1)イ】

○指示語や接続詞及びこれらと同じような働きを持つ語句などに注意することができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(エ)】

## 評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○文章と図表との関連を捉えながら、説明の文章を読もうとしている。	○パンフレット作りをするために文章を読み、事実と意見などを読み分けたり、事実と図表との対応関係を整理したりする。  ○パンフレット作りをするという目的や必要に応じて図表を選び、内容を要約している。	○説明文を読む上で大切な指示語や接続詞に注意している。

## 指導と評価の計画

(全6時間)

次	学習内容 (時数)	評 価				
		関	読	言	評 価 規 準	
一	<p>学習の見通しを持つとともに、全文を通読し感じたことや考えたことを書く。</p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の見通しを持つ。</li> <li>・全文を通読する。</li> <li>・感じたことやパンフレット作りに生かしたい内容を考える。</li> <li>・図表と内容との関連を整理する。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章と図表との関連を捉えながら、説明の文章を読もうとしている。</li> </ul>	ノートへの記述
二	<p>図1の表す内容やその役割を理解する。</p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学的な論文の書き方の特徴について理解する。</li> <li>・筆者の2つの問いを理解する。</li> <li>・図1の役割について理解する。</li> </ul>	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章と図表との関連を捉えながら、説明の文章を読もうとしている。</li> <li>・パンフレット作りをするために文章を読み、事実と意見などを読み分けたり、事実と図表との対応関係を整理したりしている。</li> <li>・説明文を読む上で大切な指示語や接続詞に注意している。</li> </ul>	ノートへの記述 ワークシート
	<p>「脳の活性化には音読がよい」という根拠と理由を要約する。</p> <p>(1 本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事実の説明とそこから導かれた筆者の考えを整理する。</li> <li>・関連する図表を選ぶ。</li> <li>・パンフレットに載せる形でまとめ、書く。</li> </ul>	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章と図表との関連を捉えながら、説明の文章を読もうとしている。</li> <li>・パンフレット作りをするという目的や必要に応じて、図表を選び、内容を要約している。</li> </ul>	ノートへの記述
	<p>「音読をすることによる効果」を要約する。</p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットに載せる情報とその図表を選ぶ。</li> <li>・どのような仮説に基づき、どのように検証し、その考えに至ったのかを整理する。</li> <li>・パンフレットに載せる形でまとめ、書く。</li> </ul>	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章と図表との関連を捉えながら、説明の文章を読もうとしている。</li> <li>・パンフレット作りをするという目的や必要に応じて、図表を選び、内容を要約している。</li> </ul>	ノートへの記述
三	<p>相手や目的を意識して、内容や図表を取捨選択し、内容にあった見出しを付ける。</p> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・付け足した方が良い情報について考える。</li> <li>・読み手に興味を持ってもらえるような見出しを考える。</li> <li>・パンフレットの構成を考え、情報や図表を効果的に配置する。</li> </ul>		◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット作りをするという目的や必要に応じて、図表を選び、内容を要約している。</li> </ul>	ノートへの記述 作品 (パンフレット)

## 本時の学習

(1) 本時の目標

- 「脳の活性化には音読がよい」という根拠と理由を要約することができる。

(2) 本時の評価規準

- 文章と図表との関連を捉えながら、説明の文章を読もうとしている。

【国語への関心・意欲・態度】

- ◎ パンフレット作りをするという目的や必要に応じて、図表を選び、内容を要約している。

【C読むこと(1)イ】

(3) 準備物

ワークシート

(4) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<b>1 本日のめあてを確認する。</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あいさつをする。</li> <li>○ 前時の学習内容を想起する。</li> <li>○ 本時のめあてを確認する。 【本時のめあて】</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>確認事項</b>                      相手：健康教室に参加している65歳以上の人（日本人）                      目的：脳の活性化を促す方法を紹介する。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>既習事項</b>                      ・音読をする時に脳が最も活性化する。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習課題・目標・評価の観点を明確にし、学習への心構えを持たせる。</li> </ul>		
「脳の活性化には音読がよい」という理由とその時の脳の状態を要約しよう。			
<b>2 「脳の活性化には音読がよい」という根拠と理由を整理する。</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 筆者が「音読をすると脳が活性化する」と考える理由を整理する。</li> <li>○ パンフレットに使うべき図表を選ぶ。 <div style="text-align: right; margin-top: 5px;">自己決定 共感的人間関係</div></li> </ul>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">音読をするとなぜ脳が活性化するのか、その理由とその時の脳の状態をまとめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事実と筆者の考えとを意識させながら、理由を整理する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">事実</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの言葉は文字言語と音声言語の側面がある。</li> <li>・私たちの脳はこの2つを別のシステムを使って処理している。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">考え</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読をするときは、目で見えた文字を口から出し、その音声を自分の耳で聞くので、2つのシステムの両方を同時に使っている。</li> </ul> </li> <li>○ なぜその図表を使うのか、なぜ使わないのか理由を考えさせる。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳を最も活性化させるのが音読なので、それに対応した図8を使う。</li> <li>・音読が効果的であることを述べるがパンフレットを読んでもらう相手が日本人なので、図7は使わない。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章と図表との関連を捉えながら、説明の文章を読もうとしている。</li> </ul>	<p>ノートへの記述</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">評価言</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や目的に応じて理由を考えているね。</li> <li>・使わない理由</li> </ul>

<p>○ 日本語を音読しているとき（図8）の脳の様子を整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳を活性化させる方法を紹介するのが目的なので、脳がリラックスする図4, 図5は使わない。</li> <li>●図のタイトルに注目させる。</li> <li>○必要に応じて切り返しを行う。</li> <li>○「黙読」の部分にも注目させ、働いている部分を具体的に書かせる。</li> <li>●文末表現に注目させ、事実と考えを整理させる。</li> </ul> <p><b>脳の様子（＝事実）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚野, 前頭前野, 聴覚野, ウェルニッケ野が黙読よりも広い範囲で働いている。</li> </ul> <p><b>筆者の考え</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大脳の70%以上もの神経細胞が働いている。</li> </ul> <p>○図8は脳の働きを視覚的に示していることと筆者の考えの根拠になっていることを押さえる。</p>	<p>についても考えられているね。</p>
--------------------------------------	---	-----------------------

**3 パンフレットに載せるための下書きをする。**

<p>○ パンフレットに載せる形で書く。</p> <p><b>共感的人間関係</b> <b>自己存在感</b></p>	<p>「脳の活性化には音読がよい」という理由とその時の脳の状態を要約して、パンフレットの下書きをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○読み手を納得させるような工夫をさせる。</li> <li>●書き出しの言葉や文章の組み立てなどについて、ヒントカードを用意する。</li> <li>○個人思考の時間を十分に確保し、4人班で交流してパンフレット作りの参考にさせる。</li> </ul> <p><b>【B基準】</b></p> <p>私たちの脳は音読をするときに最も活性化します。私たちの言葉は文字言語と音声言語の側面があり、この2つを別のシステムを使って処理しています。音読をするときは、目で見た文字を口から出し、その音声を自分の耳で聞くので、2つのシステムの両方を同時に使うことになり、脳を活性化すると考えられます。音読をしているときの脳は、視覚野, 前頭前野, 聴覚野, ウェルニッケ野が黙読よりも広い範囲で働いています。音読をしているときは、大脳の70%以上もの神経細胞が働いていると考えられています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット作りをするという目的や必要に応じて、図表を選び、内容を要約している。</li> </ul> <p><b>ノートへの記述</b> <b>評価言</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報を漏らさずに書いているね。</li> <li>・事実と考えをきちんと書き分けているね。</li> <li>・興味を持たせる工夫ができてきているね。</li> <li>・図表と事実とをうまく組み合わせているね。</li> </ul>
---	--	---

**4 本時の振り返りをする。**

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 評価表に記述する。</li> <li>○ 次時の内容を知る。</li> <li>○ あいさつをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理解した（できなかった）ことを自分の言葉で書かせる。</li> <li>○気づき, 感想, 更に考えたいことも書かせる。</li> <li>○「脳を活性化することの効果」について紹介する。</li> </ul>	
--	---	--



## 板書計画

文章をまとめてパンフレットを作ろう

脳の働きを目で見てみよう

川島隆太

「脳の活性化には音読がよい」という根拠と理由その時の脳の状態を要約することができる。

### 【パンフレットについて】

相手：健康教室に参加している

六十五歳以上の人たち

目的：脳の活性化を促す方法を紹介する

### 〈意見〉

脳の活性化には音読がよい

### 〈理由〉

**事実** 文字言語と音声言語は脳の別の

システムを使って処理する。

**考え** 音読は文字言語と音声言語の二つの

システムの両方を同時に使うため脳が

活性化する。

### 〈根拠〉

#### **事実**

視覚野，前頭前野，聴覚野，ウエルニッケ野  
黙読よりも広い範囲で働いている。

#### **考え**

脳の七〇%以上もの神経細胞が  
働いている。

図 8

〈パンフレットに載せる形で書いてみましょう〉